

天のひぼこ

土木の神様

むかしむかし、しらぎの国

(むかしの朝鮮半島の中のひとつの国)

の王子、ひぼこたちをのせた船が

但馬の国、気比の村につきました。

ひぼこは来日の山へ案内してもらい、

山すそに広がる沼地の奥に、

緑うつくしい村を見つけました。

「あのような村へ行ってみたいな」

「あの村は出石と申します。

では、さつそく行きましょう」

出石の大村長ふとみみは、

ひぼこ一行をあたたかく迎えました。

そして、

田や畑をわけてもらってくらしました。

ある日、雨の季節がやってたのです。

あたり一面、泥の海となり、

人も家も流されてしまいました。



但馬地方にまつわる昔話。

今回は出石神社に祀られている土木の神様(天のひぼこ)を紹介します。

「そうだ！」

あの瀬戸の大岩を切りひらいて

沼地の水をどんどん海へながそう！

そうすれば、沼地が広い田となつて、

大水の心配がなくなれば、きつと村人は

よろこんでくれるにちがいない」

みんなが力を合わせ、

谷をつくつて、水をせきとめ、

木を切り、根をほりおこし、土をはこび、

出てきた岩をわりました。

「ようし、せきを切るぞ！」

ゴオー！音をたてて、

沼の泥水が流れ出しました。

すると、大地が顔を出したのです。

人々は手を取りあつてよろこびました。

天のひぼこは、

国づくりの神様・土木の神様として

出石神社に祀られています。



京都大学副学長
尾池和夫氏



県立コウノトリの郷公園
園長 増井光子氏

「2002 土木の日 人と自然のフォーラム」開催

昭和62年に「土木の日」が制定されてから、土木に係わる広報活動を毎年行ってきました。昨年は「人と自然のフォーラム」～地震と防災・人と自然環境～をテーマに開催し、わかりやすい講師の説明に約900名の方が参加され、熱心に話を聞かれました。

平成14年
11/14



平成14年

12/1

北近畿豊岡自動車道 ウツギ植樹イベント開催

現在、整備を進めている北近畿豊岡自動車道春日和田山道路Ⅱは、県指定天然記念物であるウツギノヒメハナバチ群生地「楽音寺」に近接しているため、道路の法面にウツギを植栽し、自然環境を保全する計画を進めており、12月1日に山東町の皆さんとともにウツギ植樹イベントを行いました。



プロフィール

きんきさっそう (大阪府)

1999年3月、箕面に誕生。今、全国的にブームのよさこい鳴子踊りのチーム。「みれば元気がでる。踊れば勇気が湧いてくる。いい世よこいのよさこい」をポリシーに全国各地のお祭り、イベント、村おこしから老人ホーム、幼稚園や学校など、踊りを通しての人の輪つくりをしている。4歳から65歳まで、現在会員は70名。世代を超えて「みんなが主役」をモットーに、それぞれがそれぞれのライフステージで輝くことをめざして、助け合いながら、楽しく週一度の練習を大切にしている。

- 1999年 御堂筋パレード 準大賞
- 2001年 きのさき温泉YOSAKOIまつり グランプリ
- 2001年 山口きらら博 準グランプリ
- 2001年 福岡ふくこいアジア祭り 準大賞
- 2002年 きのさき温泉YOSAKOIまつり グランプリ ほか多数



まつりの当日は城崎温泉街を各チームが踊りまくる。それぞれ趣向を凝らした衣裳で力強い踊りを披露。KinKi 颯爽の平成14年のテーマは「颯爽2002 RESPECT」、環境とのコミュニケーションでした。



2001年6月、但馬へ向かうマイクロバスは、山道をかなり激しく揺れて走り、みんなで大声を上げて、「がんばれ〜」(ブルーハーツの歌)と歌い続けることで、なんとか持ちこたえ、おかげで、城崎に着いた頃には、最高に盛り上がっていました。

はじめて訪れた「きのさき温泉YOSAKOIまつり」。湯けむりに鳴子の音が響いて、まるでアニメの世界のように幽玄な雰囲気か漂っていました。この時、私たちは、無謀な日帰り計画。にもかかわらず、のんびりしていたら、お風呂屋さんも終わってしまいそうになり、まつりの実行委員の方が交渉してくださって、無事、温泉に浸ることができました。しかし！一難去ってまた一難。食事をするところも閉まってしまうました。すると、またまた実行委員会の方がどこからともなく現れて、打ち上げに招いてくださいました。女将たちの心づくしのおいしい手料理に感激し、私たちは、踊りでお礼。再会の約束をし、名残惜しくバスに乗り、帰宅したのは夜中の3時でした。(そして、翌朝8時集合で京都の祭りへ行ったというオマケ話付)

2002年6月、去年の教訓を生かして、一泊計画。JRを利用したら、あら不思議、

あつという間に着きましたよ。よさこいは、毎年新しい踊りを披露するのが通常なのですが、「颯爽2002 RESPECT」はどうしてもこの城崎で初お披露目したくて、振りをお願いして2週間、連日特訓をしました。それには理由がありました。

2001年8月、私たちは、震災の爪痕の残る神戸市長田区で、お祭りを立ち上げました。8月といえば城崎はかきいれ時、なおかつ地元の夏祭りもある。そんな忙し中、女将たちのチーム「湯上り美人参上」は、心意気で駆けつけてくれたのでした。その元気な踊りに、長田の人々がどんなに勇気づけられたことか……！

私たちは、無我夢中で心をひとつに「ありがとう」の感謝をこめて踊りました。2年連続グランプリ……そんなご褒美までいただいて、豊かなお湯とおいしいお料理、そしてなによりもいつも変わらぬあたたかい心遣い、「ただいま〜」と訪れたい心の故郷、これが私たちの城崎物語です。

きのさき温泉YOSAKOIまつり
平成12年6月、城崎町の新しいイベントとして誕生。城崎の活性化を願い、地元但馬と遠隔地のみんなを元気にしてくれるよさこい踊りが城崎温泉街を埋めつくす。第4回目を迎える今年(6月7日(土))開催予定。